事業番号

0312

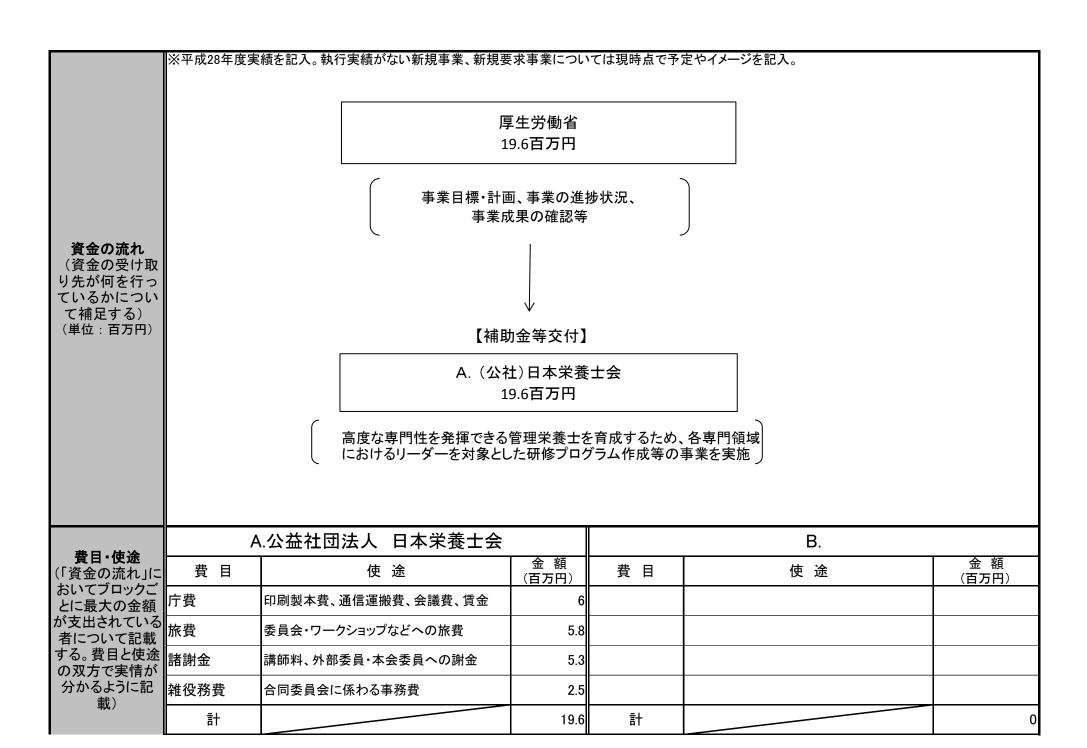
		-					<u> </u>		031			
		平成	<u>2 9 年度行</u>	政事業レ	<u>/ビュ</u>	<u>ーシート</u>	(厚生	労働省		<u>) </u>	
事業名	管理栄養士専門分野.	別人材育成事業費		担当	部局庁	健康局			作月	戊責任者		
事業開始年度	平成18年度	事業終了 (予定)年度	終了予定な	し 担当	4課室	健康課栄養	指導室		栄養指導室 江	長 清野	富久	
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康増進法第3条				する計画、 通知等 電局長通知) 平成28年度管理栄養士専門分野別 でいて(平成28年4月7日付け健発の 東局長通知)							
主要政策・施策	高齢社会対策、食	育推進		主要	経費	その他の事	項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	複雑で解決困難な栄 向け、高度な専門性											
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	平成28年度では公益 治療効果をあげるた 門研修プログラムを (1)専門領域で活動 (2)専門領域の管理 (3)実践プログラム((4)上記(3)の成果 (5)認定を開始して ※補助率 10/10 なお平成29年度は日	めに必要とされる作成する。また、する管理栄養士に求められるとに充実開発、検証をもとに在宅訪問いる専門分野(が	高度な専門性を有 成27年度行った打 の認定の在り方の れるニーズや課題の 及び作成 栄養について、高原 し病態栄養専門管	する管理栄養= 摂食嚥下リハ専 検討 の分析 要な専門性を有 理栄養士・腎臓	士を育成で 門管理栄 する「在写 病病態栄	養士の研修プロ 記訪問栄養専門 受養専門管理栄養	コグラムの試験	案を踏まえ、認 (仮称)」の認定	定システムの の在り方につ!	魚証を行う 。		
実施方法	委託·請負											
	V/ +17 =	, htt	26年度	27年度		28年度		29年度	30	年度要求		
	当初予		20	20		20		20		48		
	補正予		_	_		_		_				
	予算 前年度からの状 羽矢麻る		_			_		_		_		
予算額・	別の記し、翌年度へ	繰越し	-	_								
執行額 (単位:百万円)	予備費	等	-	-		-		-				
(平位:日2711)	計		20	20		20		20		48		
	執行額		20	20		20						
	執行率(%)	100%	100%		100%						
	当初予算+補正予算に対す 100%		100%	100%								
	る執行額の割合 歳出予算E		F度当初予算	30年度要	求	主な増減		主な増減理	里 由			
平成29・30年度	衛生関係指導者養成等委											
予算内訳 (単位:百万円)	託費 計		20		48							
	定量的な成果	日堙	成果指標	10		26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終	冬年度	
成果目標及び 成果目標及び			八木1日1末	+ B + 4					- 年度	29	年度	
成果実績 (アウトカム)	例年規模(50人程 理栄養士を対象に		領域におけるモ	成果実績		59	20	27	_			
())[·/JΔ/	領域におけるモデ	ル研修を ル研修	多の参加者数	日保旭	人	50	50	50	_	50		
扫 Multi	実施		達成度	%	118	40	54	_				
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	平成28年度管理栄	養士専門分野類	引人材育成事業	報告書(公益社	t団法人	日本栄養士	会)					
活動指標及び		活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年) 活動見		
活動実績(アウトプット)	宇際に展明士で士	田皿板プロバニ	1.	活動実績	プログラ	<u>ل</u> 1	1	1	1			
(ノーンドンッド)	実際に展開する専門研修プログラム				プログラ	쇼 1	1	1	1			
		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年)	度活動見込	:	
単位当たり				単位当たりコスト	百万円	20	20	20		20		
コスト	X;当該年度執行額	額(百万円)/Y; 数	X; 当該年度執行額(百万円) / Y; 専門研修プログラム 数					20 20 20 20/1		20 20/1		

		政策	I -10 妊産婦・児童から高齢者に至るまでの幅広い年齢層において、地域・職場などの様々な場所で、国民的な健康づくりを推進すること											
		施策	■ 【 I −10−2 生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図る。											
			定量的指標				単位	264	年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度	
						実績値	_	-	_	-	-	-	-	
	政	測定指標				目標値	_	-	_	_	-	-	-	
政策評価	政策評価		定性的指標 目標				目標年歷	支	施策の進捗状況(目標)					
経済						-								
財政			-				_			施 	策の進捗状況	兄(実績) ————————————————————————————————————		
政再生ア						.				1 tr				
クシ		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
ョン・プ		養士を	高度な栄養問題を有する個人や集団等の特性に応じた栄養ケアの拠点となる栄養ケア・ステーションの機能強化に向け、専門性に特化した管理栄 養士を育成することを目的とし、特に国民のニーズの高い専門領域における研修プログラムを作成することで、水準の高い栄養ケアを提供できる人 オを育成する。											
ノログラ		改革 項目	分野:	-	-			1						
ムと	アクシ経	(第 第 一 K		KPI (第一階層	量)		単位	計画間 -	開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
の関係		KPI B)			成果実績	-		_	-	_	_	-		
係			_	目標値	-		-	_	-	-	-			
	ョ済					達成度	%		ー 3日 +ム n±	-	-		- 口描目幼仁苗	
	- 財	(第二階層) KPI		KPI (第二階層	量)		単位	- 一	開始時 年度	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
	プログラ (で (で (で (で (で (で () () () ()					成果実績	-		_	-	-	-	-	
	ラム		_			目標値	-	-	_	_	-	-	-	
					大声 类	達成度	% *		→ 間板	_	_	-	_	
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
					事業所管	部局によ	る点検・	改善						
				項	=			評価			評価に関	する説明		
国費投	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。							0	栄養指導・食生活支援を担う人材の育成について、複雑で 解決困難な栄養の問題を持つ対象者に対して水準の高い栄養ケアを提供することができる管理栄養士の育成は広く国民のニーズがある。					
入の必	地方自	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。						0	高度な専門性を発揮できる管理栄養士の育成、地域における栄養支援活動を均てん化するため、国が実施すべき事業である。					
性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の 事業か。							0	養ケア	音導・食生活: 対難な栄養の でを提供する い事業である	ことができる	.材の育成に ⁻ 対象者に対し 管理栄養士 <i>0</i>	ついて、複雑で て水準の高い栄)育成は優先度	
	_						•							

	脱労性が確	保されているなど支出	先の選定は妥当か。	0	
		競争契約、指名競争契 応札又は一者応募とな	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 ったものはないか。	無	- 支出先は、高い専門的技術を有する職能団体であり、選定 は妥当である。
		生のない随意契約とな		無	
ī	受益者との質	負担関係は妥当である	か。	0	各専門分野別リーダー向け研修プログラムは、水準の高い 栄養ケアを効率的よく提供する管理栄養士の人材育成に活 用できることから、負担関係は妥当であるといえる。
業の効	単位当たり	コスト等の水準は妥当だ	か。	0	専門研修プログラムの作成に、適切な額の執行がされており、妥当である。
	資金の流れ	の中間段階での支出し	ま合理的なものとなっているか。	-	-
生	費目•使途だ	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。	0	水準の高い栄養ケアを効率よく提供する管理栄養士の人材 育成を行うための事業の目的に必要な費目・使途となって る。
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コスト	-削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。	0	評価委員を設置し、常に事業の振り返りを行っている。
	成果実績は	成果目標に見合ったも	のとなっているか。	0	平成28年度は目標を達成できていないが、平成29年度からは本事業の交付先を2団体に増やし、成果目標の達成に努める。
, III + 1		当たって他の手段・方法 低コストで実施できてい	法等が考えられる場合、それと比較してより効果 いるか。	0	事業は高い専門的技術を有する職能団体によって行われ 必要があり、他の手段・方法は困難。
]	活動実績は	見込みに見合ったもの	つであるか。	0	専門研修プログラムやモデル研修の参加者数など見込み 見合ったものであった。
	整備された	施設や成果物は十分に	に活用されているか。	0	専門性の高い管理栄養士の育成により、水準の高い栄養 アの提供を可能とすることが期待される。
目		業がある場合、他部局 体的な内容を各事業 <i>0</i>	・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 D右に記載)	_	
丰丰	所管府省名	事業番号	事業名		- -
		目的・予算の状況、資			0/20
	改善の 方向性	平成28年度の成果目		よ交付先を	
		平成28年度の成果目	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からに	は交付先を 化を図っ	
女害古史	対象外	平成28年度の成果目実施団体と適宜連絡	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からにを取り、進捗状況の把握、予算の執行実態の適正	は交付先を 化を図っ 見	そ2団体に増やし、成果目標の達成に努める。また当事業でに ている。引き続き適正な執行に努める。
	対象外現地	平成28年度の成果目実施団体と適宜連絡	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からにを取り、進捗状況の把握、予算の執行実態の適正 外部有識者の所見	は交付先を 化を図っ 見 額を確保し	そ2団体に増やし、成果目標の達成に努める。また当事業でにている。引き続き適正な執行に努める。
又語古具	対象外	平成28年度の成果目実施団体と適宜連絡	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からにを取り、進捗状況の把握、予算の執行実態の適正	は交付先を 化を図っ 見 額を確保し	そ2団体に増やし、成果目標の達成に努める。また当事業でにている。引き続き適正な執行に努める。
- 女害吉艮	対象外	平成28年度の成果目実施団体と適宜連絡	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からにを取り、進捗状況の把握、予算の執行実態の適正 外部有識者の所見	は交付先を 化を図っ 見 額を確保し	そ2団体に増やし、成果目標の達成に努める。また当事業でにている。引き続き適正な執行に努める。
• 攵髻吉艮	対象・現状通り	平成28年度の成果目実施団体と適宜連絡	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からにを取り、進捗状況の把握、予算の執行実態の適正 外部有識者の所見	は交付先を 化を図っ 見 額を確保し	そ2団体に増やし、成果目標の達成に努める。また当事業でにている。引き続き適正な執行に努める。
• 火 等 话 果	対象・現状通り	平成28年度の成果目実施団体と適宜連絡	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からにを取り、進捗状況の把握、予算の執行実態の適正 外部有識者の所見	は交付先を 化を図っ 見 額を確保し	そ2団体に増やし、成果目標の達成に努める。また当事業でに ている。引き続き適正な執行に努める。
• 炇善洁果	対象・現状通り	平成28年度の成果目実施団体と適宜連絡	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からにを取り、進捗状況の把握、予算の執行実態の適正 外部有識者の所見	は交付先を図って記している。 記を確保している。	でいる。引き続き適正な執行に努める。また当事業ではている。引き続き適正な執行に努める。
	方 京 か 明状通り 現状通り 明状通り	平成28年度の成果目実施団体と適宜連絡	標の達成率(54%)を踏まえて、平成29年度からにを取り、進捗状況の把握、予算の執行実態の適正 外部有識者の所見 行政事業レビュー推進チークを対象を表現であることから、引き続き、必要な予算 所見を踏まえた改善点/概算要求 備考	は交付先を図って記している。 記を確保している。	でいる。引き続き適正な執行に努める。また当事業ではている。引き続き適正な執行に努める。

平成28年度

307



支出先上位10者リスト

Α.

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(公社)日本栄養士会		管理栄養士における高度 な専門分野別の人材育成	19.6	補助金等交付	-	_	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブ ^{ロック} 名	契 約 先	法 人 番 号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		_	1	1			_	ı	_